

消費者等を対象とするインタビュー 調査結果について（1）

消費者庁食品表示企画課
令和6年3月

インタビュー調査の概要について

インタビュー調査の方法等

栄養成分表示のより一層の普及啓発や理解につながる取組（FOPNLを含む）について検討するため、次の（１）～（４）のグループ毎に５名程度の調査参加者を集め、フォーカスグループインタビュー調査を実施し、消費者にとって分かりやすい栄養成分表示に向けた課題抽出や改善案を質的帰納的分析を用いて取りまとめた。

- （１）ふだんの食生活において当該表示を参考にしていない者（一般消費者）
- （２）ふだんの食生活において当該表示を参考にしている者（一般消費者）
- （３）管理栄養士又は栄養士
- （４）上級食品表示診断士を持つ食品関連事業者

調査参加者の選定における留意事項

- (1) 自分又は同居人のために食品を購入する者であること（一般消費者のみ）。
- (2) 栄養成分表示に関して、専門知識を持つ立場にある可能性がある者ではないこと（一般消費者のみ）。
- (3) 各種疾患の食事療法や宗教上の理由による食事制限がある者でないこと（一般消費者のみ）。
- (4) 調査参加者の職種については、グループ内で著しく偏りが無いようにすること（一般消費者のみ）。
- (5) 関東近圏に在住する者であること。
- (6) 当該調査のために録音、録画を了承する者であること。

フォーカスグループインタビューの実施

<インタビュー前日まで>

調査参加者に対して、インフォームドコンセントおよびインタビュー当日の資料やインタビューガイドの共有を実施し、併せて、質問項目に対する事前回答を依頼した。

<インタビュー当日>

ファシリテーター1名とタイムキーパー1名が、インタビューガイド等に基づき、各グループで1時間30分程度のフォーカスグループインタビューを実施した。

なお、ファシリテーターは、他の調査参加者の発言を受けて、さらに思いついたことはないか等の質問を促すこと、会話が栄養成分表示から大きく逸脱した場合のみ話題を戻すことのみ、対応することとした。

インタビューガイド（調査参加者用）

A. 挨拶及び基本ルールの説明	
（5分程度）	＜消費者庁職員からの説明＞
B. 栄養成分表示制度およびFOPNL等の取組の説明	
（5分程度）	＜消費者庁職員からの説明＞
C. 調査参加者からの自己紹介	
（5分程度）	＜消費者庁職員に続き、調査参加者からの自己紹介＞
D. 現行の栄養成分表示についての意見交換	
（30分程度）	<u>栄養成分表示は、「文字が小さいこと」、「表示場所が分かりにくいこと」、「栄養成分の量を読み取ることが難しいこと」が課題として挙げられていますが、なぜ栄養成分表示が分かりにくいと感じられてしまうと思いますか。また、この分かりにくいを解決するためには、何が必要だと思いますか。</u>
E. 日本版FOPNLについての意見交換	
（30分程度）	<u>栄養成分表示の欠点である「見にくさ」や「分かりにくさ」を解決する取組として最近ではパッケージの前面に栄養成分表示をする食品も存在しますが、皆さんにとって分かりやすい栄養成分表示とは、どのようなものだと思いますか。</u>
F. クロージング	
（10分程度）	



分かりやすい栄養成分表示の取組 に関する情報提供

消費者庁食品表示企画課
令和●●年●●月

我が国における栄養成分表示

食品の熱量や栄養素の量が分かる栄養成分表示制度

- ✓ 平成27年4月1日に食品表示法が施行され、容器包装に入れられた加工食品には栄養成分表示として、熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、ナトリウム（食塩相当量で表示）を必ず表示。
- ✓ 令和2年4月1日から完全施行となり、栄養成分表示を義務化。
- ✓ これらの5つの項目は、生命の維持に不可欠であるとともに、日本人の主要な生活習慣病と深く関連。
- ✓ 栄養成分表示を見て、上手に食品を選び、必要な栄養素を過不足なく摂取できれば、健康の維持・増進を図ることに役立つ。

食品表示法の施行

栄養成分
表示を
義務化

栄養成分表示 1食分(〇g)当たり	
熱量	〇kcal
たんぱく質	〇g
脂質	〇g
炭水化物	〇g
食塩相当量	〇g

栄養成分の量が分かる

上手に食品を選ぶ



必要な栄養素
を過不足なく
摂取

健康の維持・増進

栄養成分表示における義務・推奨・任意表示の考え方

- ✓ 栄養成分の表示の在り方については、①消費者における表示の必要性、②事業者における表示の実行可能性及び③国際整合性を勘案して決定することとしている。
- ✓ 具体的には、①から③の全ての観点を満たす場合は義務表示、①の観点を満たす場合は推奨表示、①の観点を満たさない場合は任意表示としている。

	消費者への 必要性※1	事業者の 実行可能性※2	国際整合性※3	対象となる栄養成分等
義務表示	○	○	○	熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、ナトリウム（食塩相当量に換算したもの）
推奨表示※4	○		△ (飽和脂肪酸)	飽和脂肪酸、食物繊維
任意表示			△ (糖類、糖質)	糖類、糖質、トランス脂肪酸、コレステロール、ビタミン類、ミネラル類（ナトリウムを除く）

※1 消費者の摂取状況等を踏まえた消費者への表示の必要性があること。（国民の摂取状況、生活習慣病との関連等）

※2 事業者にとって表示が実行可能であること。（日本食品標準成分表の数値収載率等）

※3 国際基準と整合していること。（コーデックス委員会の栄養表示ガイドライン等）

※4 消費者にとって表示の必要性が高いものとして将来的に義務化を目指す項目として設定するもの。

栄養成分表示の表示例

【義務表示】

食品表示法により、表示が義務付けられた5つの項目。これらは、生活習慣病予防や健康の維持・増進に深く関わる重要な成分。

※熱量はエネルギーと表示できる。

【推奨表示】

脂質のうち「飽和脂肪酸」、炭水化物のうち「食物繊維」は、日本人の摂取状況や生活習慣病予防との関連から表示することが推奨される成分。

【任意表示】

ミネラル（カルシウム、鉄など）、
ビタミン（ビタミンA、ビタミンCなど）
n-3系脂肪酸、n-6系脂肪酸、コレステロール、糖質及び糖類は、任意で表示。

【表示の単位】

100g当たり、100ml当たり、1個当たり、1食分当たりなど、それぞれの単位ごとに栄養成分の含有量が表示。

ナトリウムの含有量は、**食塩相当量**として表示。

高血圧予防の観点から、食塩摂取量の目標と比較しやすくなった。

栄養成分表示 1食分(○g)当たり	
熱量	○kcal
たんぱく質	○g
脂質	○g
● 飽和脂肪酸	○g
炭水化物	○g
● 食塩相当量	○g
● ビタミンC	○mg

栄養成分表示の対象食品及び省略規定

	加工食品	生鮮食品	添加物
一般用	義務	任意	義務
業務用	任意	任意	任意

一般用加工食品は、栄養成分表示が義務付けられているが、以下に該当する食品は表示を省略することができる※（食品表示基準第3条第3項）。

- ・ 容器包装の表示可能面積がおおむね30cm²以下であるもの
- ・ 酒類
- ・ 栄養の供給源としての寄与の程度が小さいもの
- ・ 極めて短い期間で原材料（その配合割合を含む。）が変更されるもの
- ・ 消費税法（昭和63年法律第108号）第9条第1項において消費税を納める義務が免除される事業者又は中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第5項に規定する小規模企業者が販売するもの

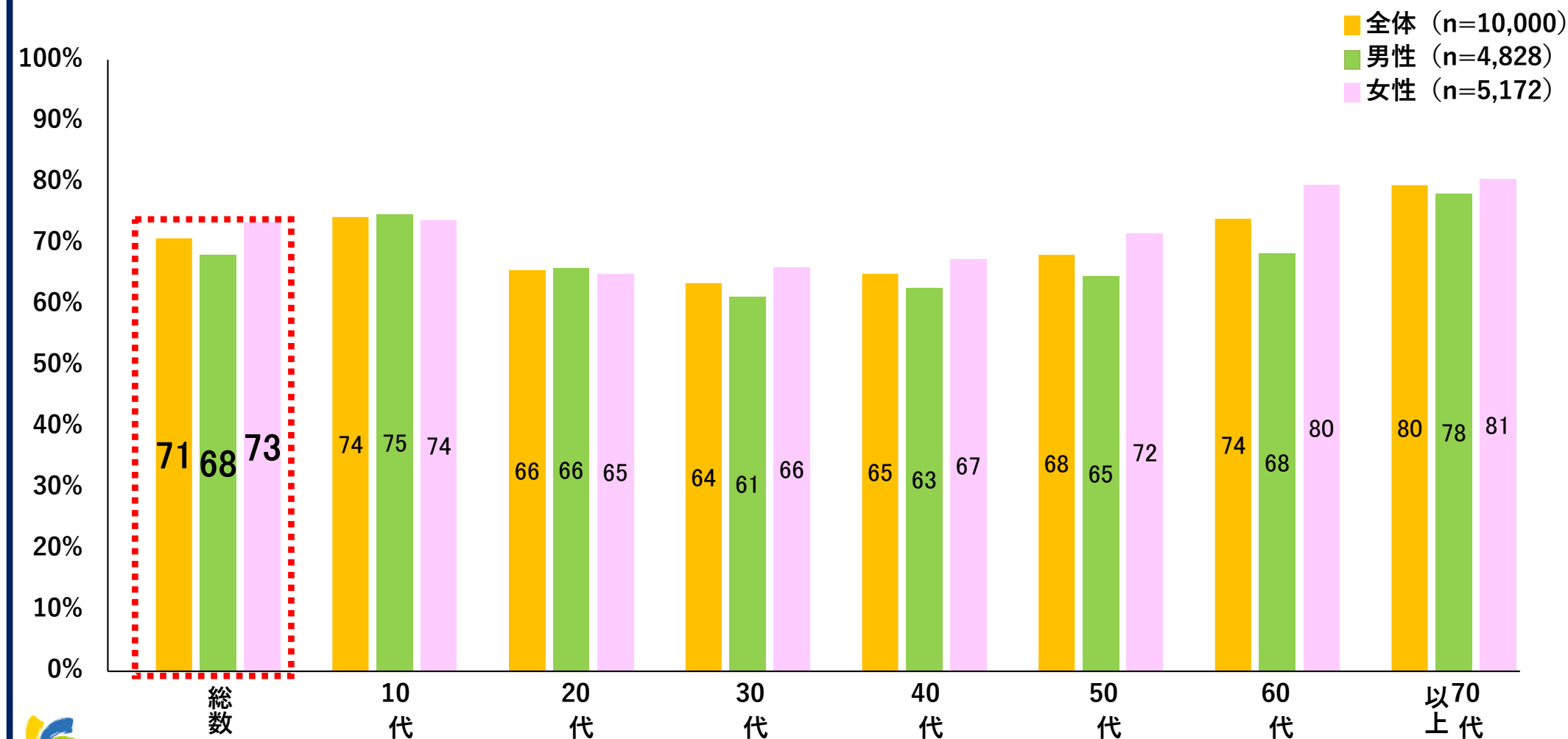
また、以下の場合も表示を要しない※（食品表示基準第5条第1項）。

- ・ 食品を製造し、又は加工した場所で販売する場合
- ・ 不特定又は多数の者に対して譲渡（販売を除く。）する場合

※ただし、栄養表示をしようとする場合を除く。

消費者における栄養成分表示の認知度

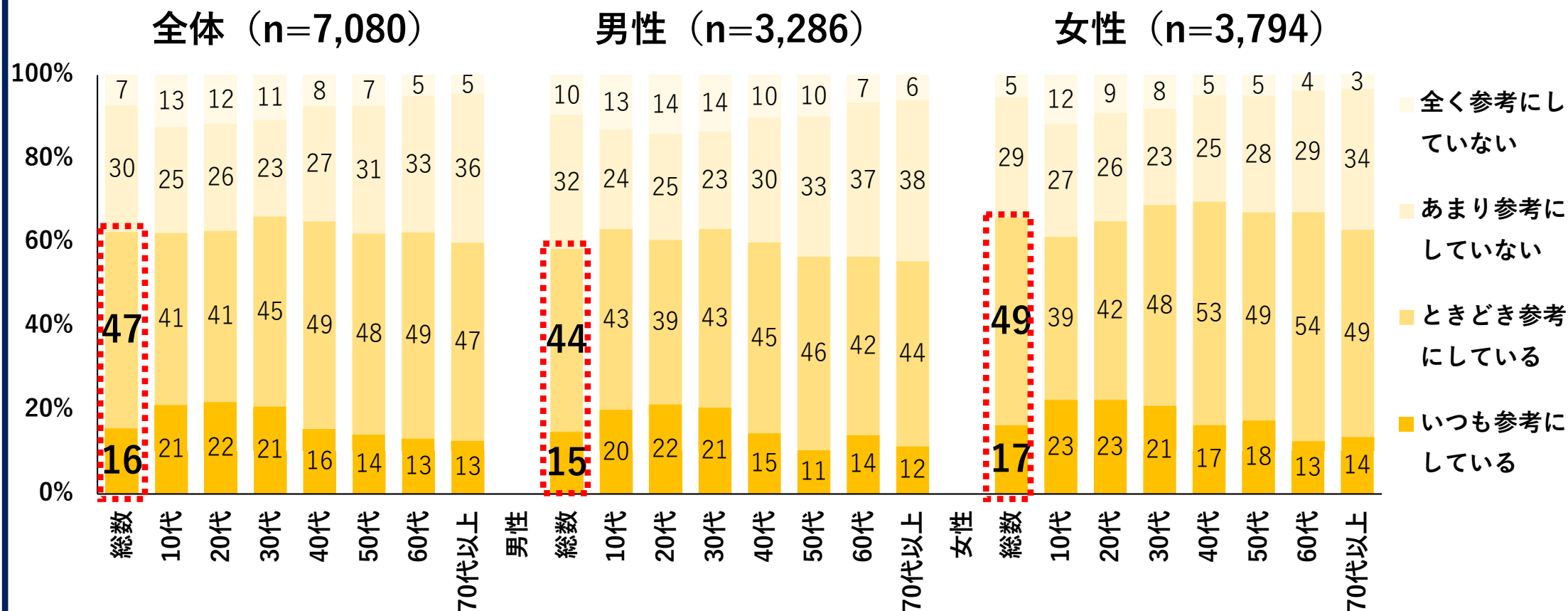
- ✓ 食品に栄養成分が表示がされていることを知っている者の割合については、全体が71%、男性が68%、女性が73%であった。



出典：令和4年度食品表示に関する消費者意向調査（消費者庁）

消費者における栄養成分表示の参考の程度

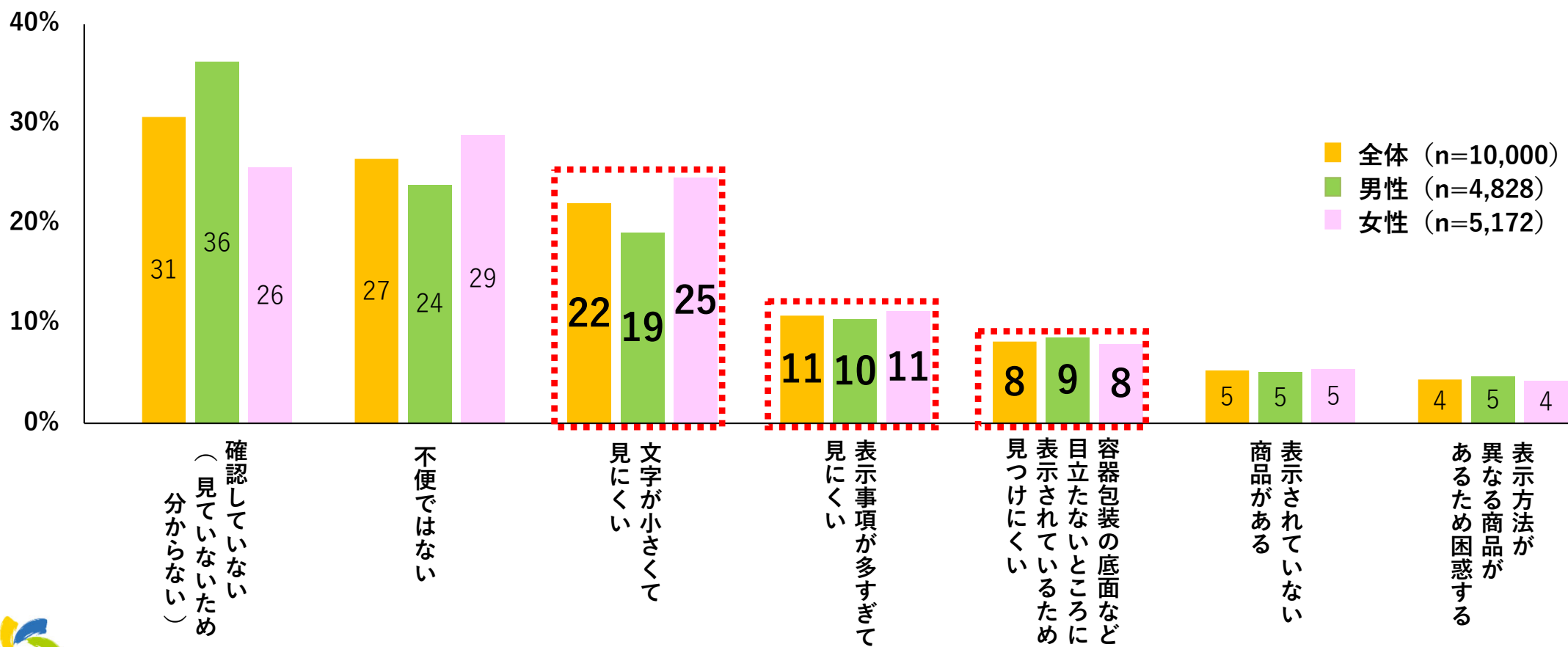
- ✓ 食品の購入時など、ふだんの食生活において栄養成分表示を参考にしている者※の割合については、全体が63 %、男性が59%、女性が66%であった。



※食品に栄養成分が表示されていることを知っているとは回答した者において、「いつも参考にしている」又は「ときどき参考にしている」と回答した者の合計を栄養成分表示を参考にしている者とした。

消費者が栄養成分表示を不便に感じる点

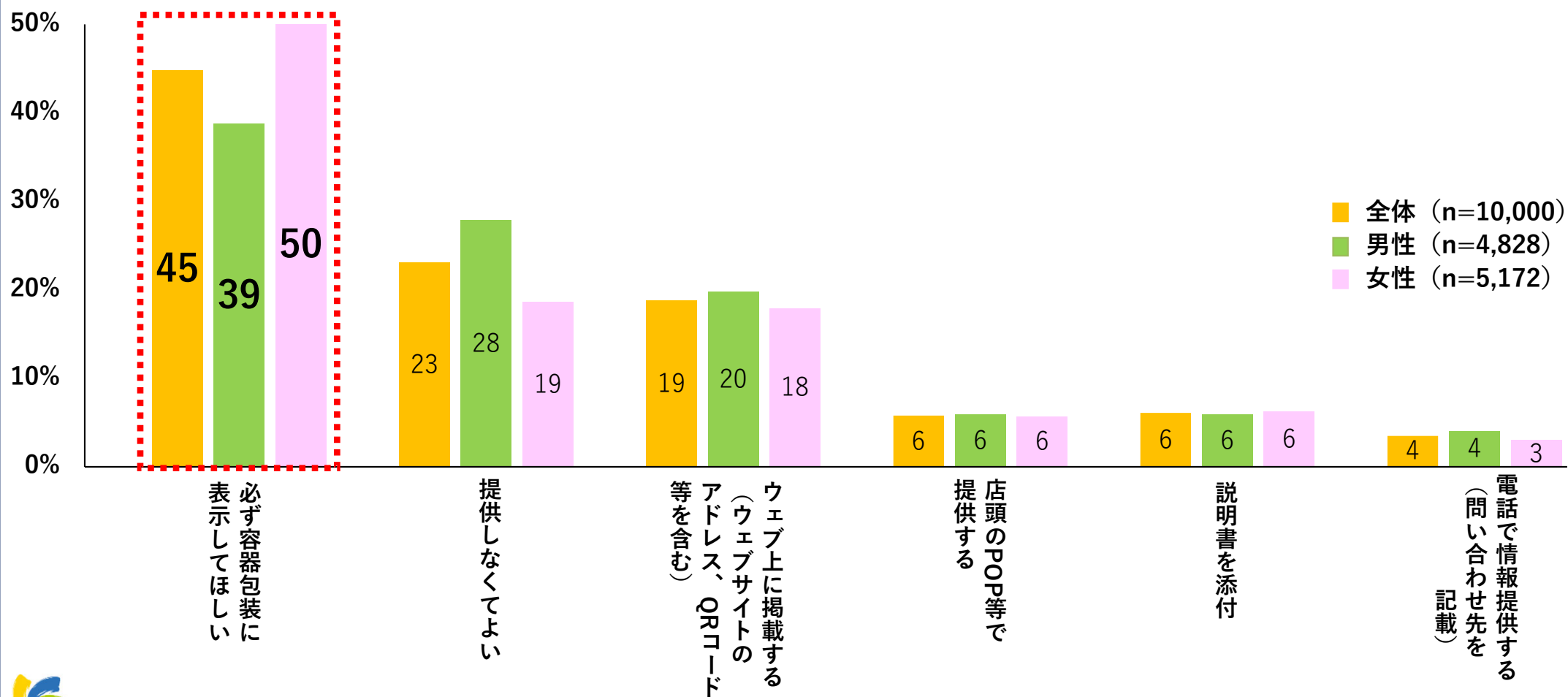
- ✓ 容器包装に表示された栄養成分表示について、知りたい情報を確認する際に不便に感じる点としては、「確認していない」、「不便ではない」に次いで、「文字が小さくて見にくい」、「表示事項が多すぎて見にくい」、「容器包装の底面など目立たないところに表示されているため見つけにくい」との回答が多かった。



出典：令和4年度食品表示に関する消費者意向調査（消費者庁）

消費者が望む栄養成分表示の情報提供方法

- ✓ 表示の文字を大きくするために容器包装に掲載する栄養成分表示を、WEBなどの別の方法で情報提供する場合なくしてもよいか、また、なくした場合、どのような提供方法に変更するのが良いと思うかについては、「必ず容器包装に表示してほしい」との回答が最も多かった。



諸外国等における取組

諸外国におけるFOPNLの取組事例

閾値・カテゴリー又はスコアリング型

任意表示



スウェーデン王国



Eat All Foods in Moderation

シンガポール共和国



フランス共和国



オーストラリア連邦

Each serving (150g) contains

Energy	Fat	Saturates	Sugars	Salt
1046kJ 250kcal	3.0g LOW	1.3g LOW	34g HIGH	0.9g MED
13%	4%	7%	38%	15%

of an adult's reference intake

Typical values (as sold) per 100g: 697kJ / 167kcal

英国

栄養素含有量表示型



イタリア共和国

義務表示



メキシコ合衆国



カナダ

Nutritive values per package
Consumption should be split into 2.5 times

Energy	Total sugar	Total fat	Sodium
410 kcal	0 g	22 g	310 mg
*21%	*0%	*34%	*13%

*calculated as percentage of recommended daily intake

タイ王国

逐語録の作成及び質的帰納的分析

<インタビュー終了後>

分析は、それぞれのグループ毎に進めた。まず、録音した音声データや録画した映像データを確認しながら、インタビューでの発言を文字起こしし、速やかに逐語録を取りまとめた。

この逐語録から、意味単位でフラグメントを抽出し、意味内容が損なわれないよう配慮しながら簡潔な要約文を生成した。この要約文の生成に際しては、同義語と考えられる言葉（例えば、食塩、ナトリウム、塩、しおなど）を代表的な一つの言葉に置き換えた。

その後、同じ意味内容が含まれる要約文を集め抽象度を高めてコードを生成した。さらに同質性の高いコードを集め、抽象度を高めてカテゴリー及び論点を整理し、一覧表化した。

分析は2名の管理栄養士（質的帰納的研究の経験者を含む）で実施した。各グループのデータを2回ずつ分析し、最後に合意形成を図った上で結果とした。

インタビュー調査の調査協力者

栄養成分表示を参考にしている者（一般消費者）

「あなたは、食品に栄養成分が表示されていることを知っていますか。」の設問に「知っている」と回答した者、かつ、「あなたは、食品の購入時など、ふだんの食生活において「栄養成分の量及び熱量(栄養成分表示)」をどの程度参考にしていますか。」の設問に「いつも参考にしている」又は「ときどき参考にしている」と回答した者を「栄養成分表示を参考にしている者」とした。

<栄養成分表示を参考にしている者のグループ>

	年齢	性別	子ども	世帯	職種等	生活習慣病
1	20歳代	女性	なし	一人暮らし	学生	なし
2	30歳代	男性	なし	夫婦のみ	会社員（不動産業、物品賃貸業）	なし
3	40歳代	女性	なし	一人暮らし	会社員 （サービス業（他に分類されないもの））	なし
4	50歳代	男性	あり	核家族	会社員（情報通信業）	あり
5	60歳代	女性	なし	一人暮らし	派遣・嘱託・契約社員（金融業、保険業）	あり

栄養成分表示を参考にしていない者（一般消費者）

「あなたは、食品に栄養成分が表示されていることを知っていますか。」の設問に「知っている」と回答した者、かつ、「あなたは、食品の購入時など、ふだんの食生活において「栄養成分の量及び熱量(栄養成分表示)」をどの程度参考にしていますか。」の設問に「あまり参考にしていない」又は「全く参考にしていない」と回答した者を「栄養成分表示を参考にしていない者」とした。

<栄養成分表示を参考にしていない者のグループ>

	年齢	性別	子ども	世帯	職種等	生活習慣病
1	20歳代	女性	なし	一人暮らし	学生	なし
2	30歳代	女性	なし	夫婦のみ	会社員（運輸業、郵便業）	なし
3	40歳代	男性	あり	核家族	会社員（情報通信業）	なし
4	50歳代	女性	なし	一人暮らし	会社員（不動産業、物品賃貸業）	なし
5	60歳代	男性	あり	核家族	自営業・自由業 （不動産業、物品賃貸業）	あり

インタビュー調査の結果

《論点》 現状の栄養成分表示の捉え方

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

気になるので見て購入する

- ✓ 買い物の度見ている
- ✓ スポーツ経験から表示をよく見て意識していた

気になる所は見てから悩む

- ✓ トランス脂肪酸が入っているとやめようか悩む

気になる時に気になるものを見る

- ✓ 惣菜パンや冷凍食品など物によっては見る
- ✓ カロリーだけは気にして見る

気が向けば見る

- ✓ 気が向けば程度

分からないので気にしない

- ✓ 自分の摂取量が分からないので気にしない

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

全く意識していない

- ✓ カロリーさえも見ない
- ✓ 表示の存在は知っているが注視するレベルではない

知識がないから見たとしても分からない

- ✓ 知識がないから見てもそうなんだという程度
- ✓ 悪い情報は目につくので見る程度
- ✓ 身の回りの人が表示を見て、控えることがある程度

自分の気になるところは見ている

- ✓ 健康成分やカロリーなどは気になるので見る

《論点》 栄養成分表示を見ない理由

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

今の表示が見つらく読む気が失せる

- ✓ 文字が見つらいのが一番どこに書いてあるか分かりづらい
- ✓ 日本の表示は情報量が多すぎる
- ✓ 途中で改行されたりすると読む気が失せる
- ✓ 1回の目安量で表示されていない

手軽に見ることができない

- ✓ 文字が細かすぎて老眼鏡をかけるのが手間
- ✓ 表示を見るため手に取り棚に戻すのが嫌

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

ネットだと表示されていない

- ✓ ネットで買うので表示を見る機会がない

気にしていない

- ✓ そもそも関心がない
- ✓ そこまで気が回らない
- ✓ 何を買うか決めているので判断材料にならない
- ✓ 病気がないから関心がない
- ✓ 人生長く生きてきたので今更気にしない

食べるを優先してあえて見ない

- ✓ 外食では楽しむためにあえて見ない
- ✓ よく分からないので食べたかったら食べる

その手間が面倒

- ✓ 裏面をひっくり返してまで見ない
- ✓ ひとつずつ見るのは面倒

見にくいので見ようという気が起こらない

- ✓ 文字が小さすぎる
- ✓ パッケージの色に対して文字の色が見にくい

見ても分からないし役立たない

- ✓ 知識がなく見ても分からない
- ✓ 見ても意味をきちんと理解していない
- ✓ 加工食品から栄養素を摂取する割合が少ないので役立たない

太字下線：カテゴリー

✓：コード

《論点》 栄養成分表示を活用しない理由

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

数値の意味が分からない

- ✓ 表示を見ても自分の栄養素必要量が分かっていない
- ✓ 何グラム増量といってもその基準が分からない

負担が多いわりにメリットを感じない

- ✓ 結局面倒に感じる、家の料理に使う物だと意味がない

《論点》 栄養成分表示が分かりにくい原因

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

表示が不親切

- ✓ やっぱり文字が小さく文字数が多い
- ✓ 文字の色が見にくい
- ✓ ゴチャゴチャしていてパッと分からない
- ✓ 食べる量で表示されていない

栄養素と数値の意味が分からない

- ✓ 栄養の知識がなく何なのかよく分からない
- ✓ 栄養成分の数値だけ出されても多いか少なか分からない
- ✓ 自分の体の健康と栄養成分の数値が結びつかない

太字下線：カテゴリー

✓：コード

《論点》 分かりやすい表示のための改善案

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

親切な表示にする

- ✓ 大きく表示
- ✓ 包装の前面に表示
- ✓ 枠を太くして目立たせる
- ✓ 色盲の方でも見やすい文字の色
- ✓ 誤認識しないような強調表示

情報量を適切にシンプルにする

- ✓ 情報量を絞る
- ✓ 表示項目数は5個ぐらいでちょうど良い
- ✓ 数値も必要、視覚的にパッと分かりやすく

消費者自ら判断できるようにする

- ✓ 1回の目安量あたりでの表示
- ✓ 1日の必要量に対するパーセンテージ表示
- ✓ 数値が高いか低いかの判断表示
- ✓ 一般的な食品の平均値と比べて高いか低いかを表示
- ✓ 食品の種類ごとに評価基準の設定
- ✓ 摂り過ぎを予防する表示
- ✓ 色・高いか低いかの判断・パーセンテージを組み合わせる

統一したロゴ/マークにする

- ✓ ロゴを統一
- ✓ トクホみたいなお墨付きマークの付与

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

親切な情報提供

- ✓ 1回に摂取する目安量で表示する
- ✓ 数値が必要な人もいるので、数値を残す
- ✓ 食品の種類によって表示するものを決める

包装前面栄養表示で一目で分かりやすい表示

- ✓ 項目を厳選しアイコン化する
- ✓ アイコンは統一する
- ✓ カラフルにしてパッと分かりやすく
- ✓ 1日の必要量に対するパーセンテージを表示する
- ✓ 表示の場所を決める
- ✓ 正面だと購買意欲が湧かないので、サイドに表示する

太字下線： カテゴリー

✓： コード

《論点》 パッケージ以外の取り組み

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

知りたい人が更に情報を取得できるようにする

- ✓ POPを活用する
- ✓ バーコードを活用する
- ✓ 二次元コードを活用する

楽しみながら自己管理できるようにする

- ✓ ゲーミフィケーションを導入する
- ✓ 食事管理アプリと連携する

専門家からの教育

- ✓ 自分の必要量の基準値を知る

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

必要性に応じた適切な情報提供

- ✓ さらに必要な情報は二次元コードで表示する
- ✓ 知りたい人とそうでない人を分けて情報提供する
- ✓ 二次元コードを使い食事管理アプリに活かす

《論点》 表示を改善した場合の予想される変化

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

購買行動は変化する

- ✓ 評価の高いものを選ぶようにする
- ✓ 評価の低いものなら気にして参考にする
- ✓ 評価の低いものなら買う頻度や量が減る
- ✓ 評価の低いものでも好きな物を食べて他で調整する
- ✓ 病気になったら評価の低いものは気にする

購買行動は変化しない

- ✓ 慣れている商品は評価の低いものでも選ぶ
- ✓ むしろ評価の低いものだと分かって買う
- ✓ 評価の低いものでも気にせず買う

包装前面栄養表示の導入による副次的効果がある

- ✓ 消費者の健康意識が高まる
- ✓ 取り組む企業のイメージがアップする

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

購買行動が変化する

- ✓ 評価の低いものは購入する頻度を減らす
- ✓ 評価の低いものはストックしなくなる、
- ✓ 評価の低いものは買わない

今までと変わらない

- ✓ 買う頻度は変わらない
- ✓ 好きなものを食べればいいのでどちらでもいい

消費者の意識が高まる

- ✓ 話題になり健康意識が高まる

《論点》 表示を改善したとしても起こり得る課題

< 栄養成分表示を参考にしている者 >

包装前面栄養表示の位置付けによるコスト

- ✓ 表示の位置付けによって良い面も悪い面もある
- ✓ 義務表示になった場合のコストが心配

二次元コードの導入には工夫が必要

- ✓ 購入前にやるのはハードルが高い
- ✓ メーカーのウェブサイトにつながるだけならやらない
- ✓ 二次元コードをやるならインセンティブを導入

むしろ二次元コードの導入は慎重にして欲しい

- ✓ やりにくいのでパッケージで完結して欲しい
- ✓ コストによって価格が上がるのが心配

< 栄養成分表示を参考にしていない者 >

表示方法を変えることで起こり得る課題

- ✓ 表示を増やすことによるコスト・値上がりが心配
- ✓ 義務か任意にするかで良い点と悪い点が生まれる

表示方法を変えること以外での課題

- ✓ パーセンテージ表示は基準が人によって違う
- ✓ インセンティブがないと二次元コードは見ない
- ✓ 二次元コードの情報は見ないと思う
- ✓ 包装前面栄養表示をしても見ない人は見ない
- ✓ 消費者への啓蒙が大事だと思う